

たすけもの 函館

▽漸く春めいて来ました。東京の方では既に桜が満開の様です。待ちに待った春に少しウキウキしたい処ですが、其々本格的な出荷体制に入る前の整備や準備を成されているのでしょうか。当社のプラントも冬からの古傷が出たのか、まあ壊れる、壊れるで毎日修理整備の日々を過ごしています。

溶接棒の高く成った事。ガス、酸素の価格の高騰もあり、加えて鋼材の高止まりで辛抱しながら整備しております。皆様の工場はどうでしょうか。▽四月からは価格改定をお願いして新年度工事に対して反映させて出荷して行かなくてはなりません。土場と運搬費の合算で積算されるソーン価格に対して現状を理解して頂き、しっかりと説明責任の下で対応して参りましょう。骨材業界の踏ん張りどころです。其れに付けても今年度も無事故無災害で作業を進めなくてはなりません。その為には、経営トップの安全パトロール実施、経営トップの安全に関する訓示等が労働安全軽減化に繋がるとされています。▽新型コロナ感染対策として3月13日からマスク着用は個人の判断に委ねられましたが、作業の安全は組織として判断して参りましょう。



① 日砕協北海道地方本部・北海道砕石協同組合連合会

① 本部情報について
 第48回理事会開催3月17日に実施
 議案(1)令和5年度事業計画(案)
 議案(2)令和5年度収支予算(案)
 議案(3)会員に関する規程の改正(案)
 議案(4)令和5年度定時総会の招集
 報告事項15件
 ☆出席させて頂いた感想として
 相変わらず、前回理事会の決め事に対して同じ事を言われる理事が居り、理事会其の物の在り方について検討するべき発言が目立っております。北海道地方本部や函館支部では、この様な理事会は絶対に行り得ません

② 地方本部理事会について

労働安全の状況について

日砕協会員の過去10年間の死亡災害発生状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
H25年	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
H26年	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	8
H27年	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	5
H28年	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4
H29年	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
H30年	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
R01年	0	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	5
R02年	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	5
R03年	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	4
R04年	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

令和04年暦年の骨材生産事業所における死亡災害の罹災者数の業種別内訳は



- ・ 鉱業、石灰石鉱山が0人(前年0人)
 - ・ 採石業が1人(前年7人)
 - ・ 砂利採取業が1人(前年3人)
 - ・ その他の土石採取業1人(前年3人)以上です。例年死亡災害は、重機災害の発生件数が多い傾向でしたが、令和4年は製造プラント(工場)の事故が2件、重機に起因するものは1件となり、プラント内災害が多かったようです。上記添付表は、日本砕石新聞から引用したものです。
- 休業4日以上の災害報告 なし

道南地区砕石協同組合・協会

① 4月役員会及び通常総会開催日程
 役員会 4月12日 午後三時
 総会 5月19日 午後四時
 場所 湯の川 旅館一乃松

② 八雲砕石跡地処理に関しての進捗現況
 ・ 乙部の栄野工場について3月7日の午後1時から木口社長・榎下川部工業社長同専務取締役と榎下川部工業事務所にて

組合加入の依頼と今後の許認可についての打合せをして参りました。(榎下川部工業としては砕石業新規参入となる事から新たに許認可の申請中です。また、図面的モノは旧八雲砕石の図面と採取計画についても利用出来るものも有りその点ではかなりの時間短縮で移行されるものと思えます。

また、奥尻工場については、今後、森林管理署との協議を進めて参りますが、檜山振興局に対しては、廃止届を管財人から出して頂き、緑化処理が済み次第受理して頂く方向で振興局と協議致しました。

今後、緑化対応。緑化時期について森林管理署と緑化費用も含めて煮詰めて参ります

3月23日午後一時より森林管理署と協議予定で佐藤副理事長にも同行して頂き進めて参ります。

- その他
 今後の日程
 ・ 道本部理事会 4月25日
 ・ 道本部通常総会 5月24日
 ・ 火薬講習会(総合) 5月26日
 会場 渡島総合振興局講堂

